

## あらぐさ

### 共立高等看護学院第39期生卒業式



学院長 内藤 恵一

\*2020年3月6日

39期生の皆さん、卒業おめでとうございます。

本日は、本来なら、数々の試練を乗り越えて到達した記念すべき日です。しかし、我が国は、見えないウイルスとの闘いの真っただ中にあります。先月末に突然、我が国の首相から、小学校・中学校・高校等の全国一斉休校が「お願い」という形で、全国に要請されました。数々の疑問や、不安や、批判がある中で、山梨県の大学は、軒並み、卒業式中止といたします。当学院も残念ながら、大幅な縮小開催となりました。列席できない大勢の方々の祝福があることを承知しておいて下さい。

皆さん方39期生とは、3年前に、初めてこの場でお会いし、その後、いろいろ活躍したり、楽しんだり、悩んだり、苦労したりする姿を実際に見、聞いてきました。球技大会・学園祭・キャンプや戴帽式等、元気な姿や、その特異な才能を発揮して、楽しませてくれました。授業や実習でも、頑張ってきました。昨年4月から、最上級生として、皆の手本となるべく、普段の授業から、管理実習、研究発表、そして国家試験へと着実に取り組みました。

3年間で学ぶ知識は膨大で、臨床の現場は、時に過酷です。目前の命のはかなさに涙したり、自分の無力さに自信を失ったり、将来像が描けなくなったり、また、国家試験を前に、体調を崩したり、あれほど望んだはずの夢を諦めそうになることも、稀ではなかった筈です。それ故、今日の卒業は、あなた方の努力と研鑽、看護への熱い思いと、目標達成の、集大成であり証であるが故に、称賛に値します。卒業証書は、あなた達が、この過酷ともいえる3年間の過程を乗り越え、あなた達に医療人としての魂が宿ったことを示す証でもあります。

今、日本を含めた世界中で、大変な混乱が生じています。今年1月の時点では、私にとっても、多

くの日本人にとっても、中国の武漢の肺炎は、対岸の火事でした。このような3月を迎えようとは、全く予想していませんでした。

かつて人類は、原因不明と言われた疫病により、数千万とも、1億人以上とも言われる犠牲者を出した時代がありました。その一つが黒死病とも呼ばれたペストの流行です。特に「暗黒の中世」と呼ばれたヨーロッパで猛威を振るい、罹患すると、腋窩や鼠径部のリンパ節が、ひどく腫れ、じきに黒い斑点が皮膚に現れ、短ければ一日、長くても、数日のうちに多くの人が死に至りました。当時、原因はわからず、感染を防ぐ有効な対策も治療法もありませんでした。人々は、患者に触れたり、同じ空気を吸うだけで、伝染すると、考え、家族すら看病を放棄しました。一方で治療を施そうとした医師や、最後に寄り添おうとした聖職者たちは、次々と感染し、犠牲になりました。同じ街に暮らす異教徒たちは、ペストの原因を押し付けられ、いわれなき迫害を受けました。「外国人を危険とみなし、最初の感染者をヒステリックなまでに搜索し、感染させた疑いのあるものを狩り、デマに翻弄され、愚かな治療を試し、生活必需品を買い漁り、そして医療の危機を迎える。」これは、新型コロナウイルスが流行しているイタリアで紹介された1630年にイタリア北部を襲ったペストの流行について書かれた本の一説です。およそ400年も前の出来事なのに、まるで、現在の日本を描写しているかのようです。

今、新型肺炎ウイルス（COVIT-19）は、その原因ウイルスも、特定され、ウイルスの全塩基配列も解明され、この塩基配列から肺胞上皮細胞と親和性が高いため、重症の肺炎を起こしやすいということが、判明しています。問題は、抗ウイルス薬などの有効な治療薬が、見つかっていないことです。しかし、希望や情熱を失っては、なりません。160年ほど前の1850年代のクリミア戦争の頃は今より争いにあふれ、死が身近にありました。その中で、あなた達の先達であるフローレンス・ナイチンゲールは、科学的な思考を駆使して、輝きを放ったのですから。あなた達は、この偉大な先輩から連綿と続く、科学としての看護をきちんと学んだ医療従事者になったのです。当学院で培った、社会をみる広い視野と真実を見抜く鋭い眼で、目の前の患者さんだけでなく、社会をよりよい方向に導くよう社会参加もして下さい。偽の情報に翻弄されたり、誤った治療を試したりするのではなく、患者さんと真剣に向き合い、患者さんが社会に復帰できるような最善の道筋を示す、そのような看護師になって欲しいと心から願っています。

医療現場は、混乱しています。あなた達が、4月に入職する頃には、さらなる混乱が生じているかもしれませんが、新入職員がくると、臨床の現場は、活気づきます。37年前の1983年3月、当協会は220億という膨大な負債を抱えて倒産したことがありました。翌月4月に、倒産下でありながら、医師や看護師などの新入職員が入職してくれた時に、多くの職員が勇気づけられたそうです。あなた達は、現場に出ても、すぐには、活躍はできません。しかし、日本の多くの医療機関が混乱し、疲弊しているような時には、あなた達の希望が、我々の希望となり、あなた達の勇気が、我々の勇気となり、あなた達の存在が、多くの職員を励ましてくれるのです。（中略）

このような時代だからこそ、あなた達の仕事は、日本中、（いや）世界中どこに行っても、活躍が期待され、そしてまた、やりがいのある仕事です。今日の場に臨めるのは、あなた達の努力や研鑽と、加えて、支えくれた御家族、友人、当学院の教職員、県内の様々な医療機関で懸命に働く医療人達の存在があったことを忘れてはなりません！それを忘れずに共立高等看護学院卒業生として、誇りと確信を持って、看護の道を歩まれるよう願っています。私は、今日、あなた達39期生を、このような状況で、送り出すことを生涯忘れないでしょう!!そして、このような状況をも、受け入れ、新たな医療の道に踏み出して、活躍されるであろうあなた方を誇りに思います。

以上、 第39期・卒業生へのお祝いの言葉とします。おめでとう！

## 41期生：一年間を終えて

11月には戴帽式が行われました。多くの意見をまとめる苦労、大勢の前で意見をのべる勇氣、違う意見を否定せず受け止める努力などの経験をしながら、看護の道を歩む決意をあらたにしていきます。本番ではこれまで支えてくれた家族や先輩に見守られながら、一人ひとりがそれぞれの思い描く看護師像に向けて歩み続けることを誓い、41期生は、戴帽式に向けた取り組みを通して、かけがえのない命を持った患者さんのために頑張る事の出来る一人ひとりであることを確信しています。冬季休暇明けから、疾患や看護の学習が本格的にはじまり、2月には12科目の後期終講試験を行い、翌日からは基礎看護学実習Ⅱではじめて1人で患者さんを担当しました、その後は解剖整理学演習で学びを共有し理解を深めました。

担任 鈴木美緒

共立高等看護学院第41期生戴帽式



1年はあっという間で、暇な時間がありませんでした。自分のしなければならないことは膨大にあり、嫌になるときも沢山ありました。でも一緒に頑張ってくれる仲間がいてくれたので頑張れました。同じ志を持つ仲間とこれからも切磋琢磨しながら支えあって成長し続けたいと思います。 41期生 佐藤未悠 中村るあん

## 40期生：4カ月実習を終えた40期生に贈る言葉

実習おつかれさま！遅くまでパソコンとにらめっこし、患者さんを想って沢山悩み、仲間と意見をぶつけ合い、大変な事が多かったですね。「大変」という言葉はネガティブに捉えられがちですが、漢字を読み解くと「大きく変わる」と書かれます。大変な事をきちんと乗り越えれば自分が大きく変われるという事です。実習後の皆さんはそれを乗り越え、しっかり成長していました。

来年は3年生。大変な事は更に増えますが、それを糧に自分をどんどん変えていきましょう。大変な事があればチャンスだと喜ぶ位のスタンスで、来年度に臨んでほしいと思います。がんばれ！

担任 酒井茉莉耶



## 39期生：卒業おめでとう！楽しい時間をありがとう。

12月には3年間の集大成である卒業研究発表会が行われ、39期生29通りの看護実践が発表されました。発表と記念講演から39期生は看護観構築のため自己研鑽を積むこと、目の前の患者の命と健康を守るために社会情勢に関心を持つことが看護師には求められることを学びました。



その後は国家試験に向けて、時には逃げたくなることもあったようですが、朝から晩まで楽しそうに仲間と学習を続け、いつもと変わらぬ様子で2月16日の国家試験に臨むことができました。今年度はコロナウイルスの影響で規模を縮小した卒業式になりましたが、3月6日に無事挙行できました。笑いあり、涙ありの39期生らしい卒業式になりました。4月からは新しい地で、みんなを待っている人たちがいます。共立高看護で学んだ「患者の立場に立つ」ことを忘れず、自身の目指す看護師像に近づけるよう自己研鑽を積むこと、それぞれの持つ力を発揮することを期待しています。

担任 岩波美和

## 42期生：入学おめでとう！新たな学びのスタートです！

42期生42名が入学しました。入学式典は開催できませんでしたが手続きのために4月20日に初登校し、5月のオンライン授業を経て、6月1日に初めて皆が顔を合わせました。

担任 鈴木美緒

### 共立高等看護学院第42期生入学式



### 誓いの言葉

温かな日差しとともに吹く風が心地よく感じられるようになった今日この良き日に私たちは、共立高等看護学院の入学式を迎えることができました。本日は、私たち新入生のためにこのような素晴らしい会を挙げていただきありがとうございます。

私は、高校2年生の時に看護師の道に進もうと決意しました。それまで私は進路についてとても悩んでいました。看護師の決め手となったのは、本校の学校説明会での出来事がきっかけです。私は右手の親指に生まれつきの母斑があります。小中高と周りの目を気にして様々なことにチャレンジできなかったりと、消極的な自分がありました。自分にとってとても深刻で打ち明けることがなかなかできなかった、この悩みを本校の先生に相談しました。先生は、最後まで優しく聞いてくださいました。そして外的な部分だけでなく、私の気持ちを理解しながら内的な部分も考えて言葉を返してくれました。この親指の母斑が治ることではないけれど、私の立場に立って共感して発言してくれたことにとても感銘を受けました。その時私は、看護師というのは病気や怪我のケアをするだけでなく、患者さんの不安や辛さを軽減するという大切な役割も担っているのだと身をもって感じました。この経験から私も、患者さんの立場に立って考え、ケアだけでなく精神面も支えることのできる看護師になりたいと強く思うようになりました。

これから3年間、看護を学んでいくなかでうまくいかずに立ち止まってしまうこともあるでしょう。そんな時は、先生方や先輩方、そして今ここにいる42期生と支えあいながら自らの目標に向かって努力していくことを決意し、誓いの言葉とさせていただきます。

2020年4月 42期生 橋本実月



## 2021年度入学者募集中です。

オンライン学校説明会、同オープンキャンパスにご参加下さい。

\*申し込みはHPより

\*入試の詳細は「2021年度入学者選抜要綱」にて御確認下さい

## 共立高等看護学院

## 共立高等看護学院

患者の立場に立つ  
看護師を目指して



KYORITSU  
School of Nursing

### 看護学生募集



オンライン  
学校説明会 (4月4日・5日)

7/4  
17/18

7/4 17/18  
10:00-18:30(要予約)

※申込は説明会開催までに学校ホームページから申し込みを  
していただき、説明会アンケートもお返しいただいた上で  
入学案内を送付させていただきます。

オンライン  
オープンキャンパス (10月1日)

7/11 7/22

7/11 7/22  
10:00-14:30

※申込は説明会開催までに学校ホームページから申し込みを  
していただき、説明会アンケートもお返しいただいた上で  
入学案内を送付させていただきます。

8/4 8/7 8/8 8/21

8/4 8/7 8/8 8/21  
10:00-14:30



公益社団法人 山梨県看護教育協会  
共立高等看護学院  
〒403-0025 山梨県甲府市南郷3丁目1-35  
TEL.055-228-7325 FAX.055-228-7125

<http://www.yamanashi-min.jp/krkk/>

患者の立場に立つ  
看護師を目指して



KYORITSU  
School of Nursing

### 看護学生募集



【入学者選抜試験】

推薦・社会人入試 2020年10月23日◎

前期一般・社会人入試 2021年1月7日◎

後期一般入試 2021年2月12日◎



公益社団法人 山梨県看護教育協会  
共立高等看護学院  
〒403-0025 山梨県甲府市南郷3丁目1-35  
TEL.055-228-7325 FAX.055-228-7125

<http://www.yamanashi-min.jp/krkk/>

### 共立高等看護学院の新型コロナウイルスへの対応

■感染防止の取り組み：感染の広がりを受け3月より学事日程の変更、行事の中止や縮小を行いました。4月は自宅での学習課題、5月からはオンライン授業を開始しました。洗面台の増設、座席間の拡大、学年ごとの使用フロア分け等の環境整備を進めた上で6月より校内で授業を開始しました。換気、消毒、健康チェック等を所轄官庁の指導に基づき実施しています。

■学習と経済上の支援：学生支援緊急給付金の申込を受け付けました。学生貸出パソコンを増やしました。

## 2020年度職員紹介

学院長：内藤恵一

専門領域：保健医療論

副学院長：小泉京子

専門領域：統合分野

教務主任：河西光子

専門領域：成人看護学





実習調整者：梶原奈津子  
専門領域：基礎看護学



教育活動調整者：河野朝子  
2年副担任  
専門領域：母性看護学



教育活動調整者：押領司民  
専門領域：精神看護学



1年生担任：鈴木美緒  
専門領域：在宅看護論



1年生副担任：藤本未央  
専門領域：小児看護学



2年生担任：岩波美和  
専門領域：老年看護学



3年生担任：酒井茉莉耶  
専門領域：基礎看護学



3年副担任：宮川江里  
専門領域：在宅看護論



教務補助：三満田美恵  
専門領域：英語



事務長：浅川雄一



事務課：豊田裕子



◇ 教職員が参加した学会・研究・研修◇(主催団体名 2019 年度)

|                         |                |
|-------------------------|----------------|
| 全日本民主医療機関連合会            | 日本看護研究学会       |
| 山梨県民主医療機関連合会            | 山梨県看護協会中北部支部   |
| 山梨県看護協会                 | 山梨大学医学部        |
| 山梨民医連&日本プライマリ・ケア連合会山梨支部 | 日本看護協会日本訪問看護財団 |
| キャリア開発ラダー運営委員会          | 日本看護学校協議会      |
| 日本看護学教育学会               | 山梨県看護教育研究協議会   |
| 学研(株)                   | 山梨県実習指導者研修会    |

父母の会より

2020 年度総会に替えて議案書を郵送しご確認いただきました。雑草祭も中止のため新役員さん同士の顔合わせもこれからです。遅滞なく第 1 回役員会を開催し、今年度の活動を開始する予定です。ご理解、ご協力の程お願い申し上げます。

■ 予定

7 月 15 日 2020 年度第一回役員会  
11 月 42 期生へ 1 年生戴帽式記念品贈呈  
各学年部会(学校報告,懇談交流)  
\*雑草祭は中止となりました。学年部会は中止いたします。

同窓会より

- 共立高等看護学院に講堂の音響設備と演題を寄贈しました。(2020 年 3 月)
- 7 月に役員会を開催します。



学校より

■ 2020 年度の主な計画

- ・看護基礎教育新カリキュラム対応準備
- ・司書配置
- ・実習準備室収納整備
- ・トイレ、洗面台整備
- ・教室エアコン入れ替え
- ・各階照明の LED 化 他

■ 諸活動の予定

- ・各種研修会、学会参加
- ・地域活動参加  
河川清掃・子供クラブ行事・えびす講祭等
- ・その他の参加予定活動  
山梨フードバンク活動  
原水爆禁止世界大会(オンライン) 他

■ 年末までの予定

7 月 学校説明会(オンライン)4 日、18 日  
オープンキャンパス(オンライン) 11 日、22 日  
同窓会役員会 4 日 父母の会役員会 15 日  
8 月 オープンキャンパス(オフライン)  
1 日、7 日、8 日、21 日  
夏季休業 1 日~20 日(2 年生 6 日~20 日)  
9 月 1 年生臨地実習 7~18 日